

# 日教組 両性の自立と平等をめざす 教育研究会

8月3・4日、日本教育会館にて、「2017年度 両性の自立と平等をめざす教育研究会」が開催されました。基調報告後、古今亭菊千代師匠が「女唄家奮闘中！」という演題で講演を行いました。ご自身が唄家として活動してきたことについて笑いを交えながら話されました。最後に「人はそれぞれ違うことを肝に銘じて、子どもたちにできることを私は私なりに、皆さんは皆さんなりにがんばりましょう。」と締めくくりました。午後は、シンポジウム「ジェンダー平等教育をすすめよう～知る・気づく・動く～」が行われました。



弁護士の打越さくらさん、特定非営利活動法人スマイルひろば理事の小倉祐輔さん、福島県教協の野田美佐子さんによる意見交換が行われました。それぞれの立場からジェンダーについて述べられ、参加者は多面的に考えを深めることができました。

2日目は、「ジェンダー平等教育を考える～性の多様性への理解を広げる～」 「働き方改革とジェンダー」 「男子・男性にとってのジェンダー」 「子どもへの性的虐待～学校現場ができること～」の4分科会に分かれて熱心な議論が展開されました。以下は、参加者の感想です。

## <参加者の感想>

・古今亭菊千代師匠の講演は、笑いながらもいろいろなことに気づかされ、考えさせられた。「心が平和でないと笑えない。笑ってもらえない」という言葉が印象に残った。また、「ハチドリの話」も心に残った。微力ではあるが、私には私のできることを少しずつしていこうという気持ちになった。

・多様な性について学びました。他県の方の話を聞いて、福井はすごく遅れていると思いました。職場では、まだ一度も性について話し合っていない。これまで、生きづらさを感じていた生徒がいたのだと思います。性の多様性を文科省も認めているので、これから学校現場も変えていかなければならないところ、変えられないところなど、話し合っていかなければならないと思いました。